

2021年12月6日環境省/UNU-IAS/GEOCシンポジウム
グリーン×デジタルが先導する豊かな地域循環共生圏づくり

海外における脱炭素に向けた地域事例の紹介

国連大学サステナビリティ高等研究所
竹本明生: atakemoto@unu.edu

スキャンをお願いします

COP26 GEOCライブ配信



国連大学COP26サイドイベント
カーボンニュートラルとSDGs-
国連大学フォーラム



国連大学パリ協定専攻コース
に関するリリース



COP26：2021/10/31-11/12, 英国グラスゴー

- 過去最大規模の参加者（4万人以上）
- グラスゴー気候合意
- トップリーダーのコミットメント
 - * 1.5°C目標の再確認
 - * 世界のGDPの90%がネット・ゼロ・エミッションを約束
 - * 153か国が2030年削減目標を強化
- 「実施」へのフォーカス
 - * 様々なステークホルダーによるテーマごとの有志連合（石炭、メタン、電動化、森林など）
 - * ユースのエンパワーメント
 - * 包摂性（Inclusiveness）

<https://ukcop26.org/wp-content/uploads/2021/11/COP26-Presidency-Outcomes-The-Climate-Pact.pdf>



© Earth Negotiation Bulletin, IISD



欧州グリーンディールとは？

2019年12月
#EUGreenDeal

欧州グリーンディールは、**人々の幸福と健康の向上**を目的としています。欧州で、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする気候中立を実現し、動植物の生息環境を守ることは、人や地球、経済にとって良いことです。そして、誰一人取り残しません。

EUは：



2050年までに気候中立を実現します



汚染を削減し、人間の生活や動植物を守ります



企業がクリーンな製品と技術の世界的リーダーになることを支援します



気候中立への移行が公正で包括的であることを担保します

「欧州グリーンディールは、EUの新しい成長戦略です。
雇用を創出しながら、排出量の削減を促進します」

ウルズラ・フォン・デア・ライエン 欧州委員会委員長



「これは、人々の幸福と健康を向上させ、次世代のために健全な地球を守ることに役立つ、グリーンで包括的な移行の提案です」

フランス・ティーマーマンス 欧州委員会執行副委員長

分野別施策

- クリーンエネルギー
- 汚染をなくす
- 建築と改修
- 持続可能な産業
- 持続可能なモビリティ
- 生物多様性
- 農場から食卓まで

欧州グリーン
ディール
A European
Green Deal

- EUは、2020年1月、欧州グリーンディールの資金メカニズムとして「欧州グリーンディール投資計画」を公表し、その一部として「公正な移行メカニズム」の設立を公表。
- 「欧州グリーンディール投資計画」は、10年間で官民合わせて1兆ユーロの投資を行うことを目指すもの。「公正な移行メカニズム」は、誰も取り残すことなくグリーン経済への移行を実現するため、化石燃料関連産業に依存する地域への影響を緩和するものとして2021年から2027年までに総額1000億ユーロ以上の投資の誘導を目指す。
- 公正な移行プラットフォームや、石炭に依存する地域が転換を図るためのイニシアチブ(Initiative for coal regions in transition)等により、マルチ・ステークホルダー・パートナーシップ及び能力開発支援を実施

欧州における気候×新技術の動き カタリスト・プログラム

- EUは、欧州投資銀行、ビル・ゲイツ氏とともにCOP26において立ち上げを発表。10億ユーロの資金を活用し、EU域内におけるグリーン技術プロジェクトに対する支援を提供。
- 成長の可能性はあるが高いリスクが伴う技術に対する支援。
- クリーン水素、持続可能な航空燃料、ディレクトエアキャプチャ、長期エネルギー貯蔵、に対する支援を行い、市場の拡大を図る

<https://www.breakthroughenergy.org/scaling-innovation/catalyst>



COP26イベント・ピックアップ

Unlocking Net Zero in Cities Through Sustainable Digital Transformation and Innovative Solutions

<https://unfccc-cop26.streamworld.de/webcast/unlocking-net-zero-in-cities-through-sustainable-d>



iea



Empowering Cities for a Net Zero Future:

Unlocking resilient, smart, sustainable urban energy systems



International Energy Agency

ITU（国際電気通信連合）

AIやIoTなどのデジタル技術はリアルタイム・モニタリング、オートメーション、コネクティビティを通じて脱炭素・レジリエンス、並びにパンデミック対策に大きく貢献

デジタル技術の国際標準化がエネルギー効率性と都市の持続可能な管理に貢献

ICT分野の脱炭素化も必要。将来、世界の排出量の15-20%の削減に寄与できる

IEA（国際エネルギー機関）

コネクティド機器&センサーは2024年までに830億まで急増。デジタル技術は世界人口の50%とGHG排出の70%を占める都市の脱炭素化のカギを握る。

DXは交通システム制御や建築物のエネルギー管理などあらゆる用途で活用可能

全市民に対する包摂的な政策、デジタルとエネルギーに関する能力開発、国際標準化とベンチマーク、データアクセス、学習機会の提供等の政策を提言

UNFCCC（気候変動枠組条約）

ネットゼロシティのためには、技術のみならず政策、組織、人材育成などあらゆる面でのイノベーションが必要

COP26イベント・ピックアップ

Global Climate Action Awards: Climate Leaders Special Event 第1回国連グローバル・クライメートアクション・アワード (リーダーズ部門)

<https://unfccc-cop26.streamworld.de/webcast/global-climate-action-awards-climate-leaders-speci>



メキシコ・グアダラハラ市

- ①脱炭素, ②適応, ③包摂性を柱とする気候行動計画を策定
- 各分野にSDGsを紐付け: SDGsのゴールとターゲット, グローバル指標とアクションを記載

パリ市

- 2050年ビジョン (Make Paris a resilient, inclusive, carbon-neutral and 100 renewable energy city)
- 郊外のローカルエリアもカバーした2030年までの行動計画
- エネルギー貧困層への対応 (Leave no one behind)
- 75以上の大企業とパートナーシップ, 29000人以上のクライメート・ボランティア

欧州の食料・農業関連の政策動向

- EUは、2020年5月に、欧州グリーンディールの一部として、「Farm to Fork戦略」を公表。
- 公正で、健康、且つ環境に配慮した食料システムを構築するため、フードチェーンが環境に中立または良い影響を与えるようにすること、安全で栄養のある食料安全保障を確保すること、EUが世界の食料市場において競争力を持ち、フェアトレードを推進すること等を目指す。
- 具体的な数値目標は以下のとおり。
 - ① 化学農薬の使用量とリスクを2030年までに半減させる
 - ② 家畜と水産養殖向けの抗生物質の販売を2030年までに半減させる
 - ③ 2030年までにEUの農地の少なくとも25%を有機農地とすること等



COP26イベント・ピックアップ

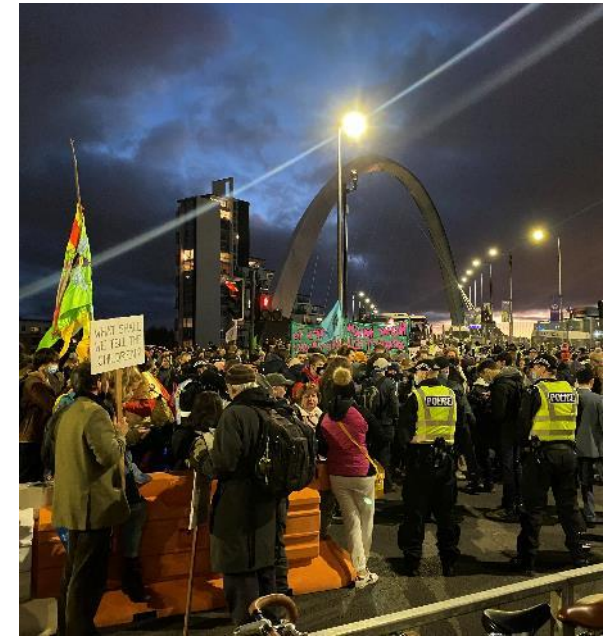
Ellen MacArthur Foundation: Food design: a powerful lever to address climate change

エレン・マッカーサー財団：フード・デザイン：気候行動へのパワフルなレバー

<https://unfccc-cop26.streamworld.de/webcast/ellen-macarthur-foundation-food-design-a-powerful->



- クリーンエネルギーへの移行は気候変動問題の半分しか解決できない
- グローバルな食料システムをリ・デザインしてサーキュラー・エコノミーへ移行することで、廃棄物と汚染物質を削減し、製品と材料を循環させ、自然を再生させ、気候変動に対するレジリエンスを高め、カーボンニュートラルに貢献できる
- 実行は可能。10大食品企業が欧州の農地の40%を占有。これらの企業が行動することで生産、流通、消費、廃棄に至るサプライチェーンすべてをサーキュラー・エコノミーに変革できる
- 投資と時間が必要だが生産者を含む全ての主体が裨益できる

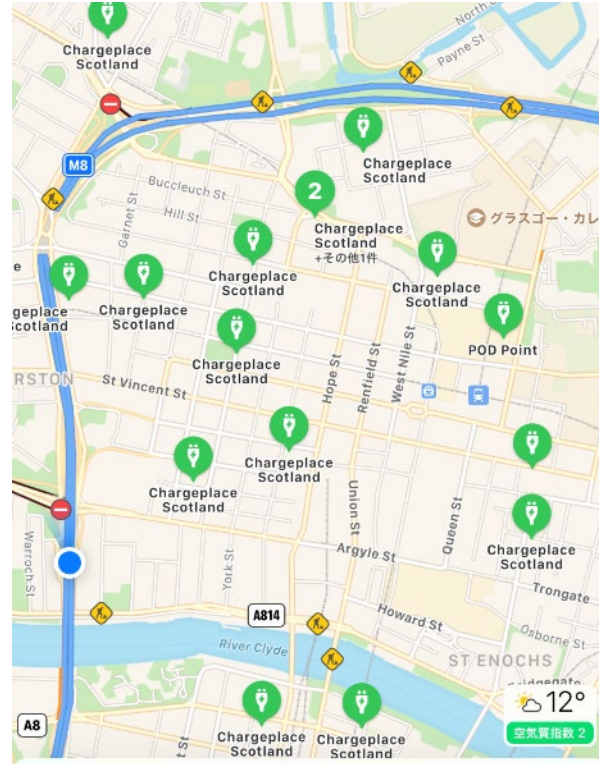


グラスゴーでの市民による様々な行動

[Refuse workers take strike action during COP26 climate talks - Bing video](#)

英国の脱炭素政策 光と影

- ジョンソン首相は2035年までに発電部門の脱炭素化を完了すると発表（2021年10月）
[All Britain's power to be green by 2035, PM Johnson says | Reuters](#)
- ジョンソン首相は2022年以降に新築する住宅，オフィスビル，商業施設等にEVの充電施設の設置を義務付ける方針を発表（2021年11月）
[PM to announce electric vehicle revolution - GOV.UK \(www.gov.uk\)](#)
- 一方で政府は北イングランドでの新規石炭鉱山事業を認可（2021年1月）
[Plan for UK coal mine brings hope to some, horror to others | AP News](#)



EURACOAL
European Association
for Coal and Lignite
AISBL

EURACOAL Position Paper
on the European Climate Law and 2030-2050 targets
as well as the "Fit for 55" package

Summary

Members of EURACOAL make a real contribution to climate protection and believe in an integrated, just and economically efficient transformation of the energy sector in the European Union which takes into account the entrepreneurial interests of EURACOAL members and the interests of the coal and lignite regions, as well as protects the value chain. EURACOAL and the EU coal and lignite industry stand to achieve the climate goals set out in the UNFCCC Paris Agreement, as ratified by all EU Member States. In this respect, a European Climate Law and a strengthening of the EU climate target for 2030 above 40% can be contemplated, subject to certain conditions that should be addressed at the EU level by Member States and the European Commission:

1. Guarantee security of energy supply in the EU, ensure renewable energy can be stored in sufficient quantities, support carbon capture, use and storage (CCUS), and recognize the role of nuclear power in certain Member States.
2. See coal as an enabler of security of supply and of competitiveness in a number of Member States – its use decreasing, but still vital and valuable. Recognize the emission reductions coal has already delivered since 1990.
3. Promote a united global climate response, especially among the G20 countries, with a level playing field for EU industry.
4. The trajectory to meet 2030 and 2050 climate targets is of fundamental importance to the economies of EU Member States and should not be subject to change by delegated act.
5. For sectors currently covered by the EU ETS, let the system do its job of cost-effectively reducing CO₂ emissions below politically agreed targets in an economically efficient manner. For the near term, other sectors will need a separate CO₂ pricing or trading system with differentiated price signals.
6. Determine the potential economic and social impacts of the EU 2030 climate target at the Member State level.
7. Carry out comprehensive, impact assessments at Member State level to determine how energy security, economic competitiveness and social cohesion can be assured during the mammoth task of transforming every aspect of life in the EU to achieve the 2050 climate-neutrality target.
8. Targets in the European Climate Law must not be legally enforceable as such, because no sovereign legislature shall bind future legislatures.
9. Increase the size of JTF/JTM resources, extend their availability period, allow support for large companies and fossil gas projects, and avoid any conditionality based on a Member State's commitment to climate neutrality by 2050.

2023年 国連大学は大学院学位プログラムにパリ協定専攻を創設します

- ❖ 国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) は、11月4日、COP26において、本学の大学院学位プログラムにパリ協定専攻コースを創設することを表明。このような専攻の提供は国連組織として初の試み
- ❖ 世界各国から学生や専門家を受け入れ、将来、気候変動や持続可能な開発など国連のグローバルアジェンダに取り組むリーダーを育成していく
- ❖ 気候変動枠組条約事務局等の国際機関、政府、大学、民間企業などの協力を得つつ開講に向けた準備を行う。
- ❖ 2022年末から本専攻の学生の募集を開始し、2023年9月を目途に開講予定



まとめ

全ての国が1.5°C目標達成に合意，世界GDPの90%以上がカーボンニュートラルにコミット。

国際社会の関心は気候アクションの実行に移行

目標達成にはあらゆるステークホルダーの参加が不可欠

官民によるグリーン・デジタル技術への投資とイノベーション

公正な移行（Just transition）には包摂的な（Inclusive）政策が必要

テーマごとの有志連合による行動がカギ

ユース世代を中心とした教育，エンパワーメントが極めて重要

パートナーシップが果たす役割は何か？

スキャンをお願いします

